

## 環境目標 2030

環境課題に関するマテリアリティ分析により、NTTグループの環境に関する重点課題は「気候変動」と「エネルギー（電力）」「資源」および「生態系」と特定されました。そこで、環境宣言で掲げた未来の実現に向けた道しるべとして、それらに関する2030年度までの環境活動の目標を「環境目標 2030」として設定しました。



**社会が低炭素化している未来へ**

NTTグループによる社会のCO<sub>2</sub>排出の削減貢献量を、NTTグループ自身の排出量の10倍以上とします。

通信事業（データセンター含む）の通信量当たりの電力効率を、2013年度比で10倍以上とします。

気候変動への適応に貢献するため、あらゆる活動を通じた取り組みを積極的に推進します。また、ステークホルダーの皆さまとも協働していきます。



**資源が循環している未来へ**

NTTグループが排出する廃棄物の最終処分率について、ゼロエミッション\*を達成します。



**自然と共生している未来へ**

生態系を保全するため、あらゆる活動を通じた取り組みを積極的に推進します。また、ステークホルダーの皆さまとも協働していきます。

\* NTTグループでは、最終処分率1%以下をゼロエミッションとして定義しています。

環境目標 2030 <https://www.ntt.co.jp/kankyo/management/strategy.html>

## TCFD 提言に対する情報開示について

中期経営戦略の柱である「ESG経営の推進」の取り組みの一環として、2020年5月にTCFDへの賛同を表明しました。これに従い、今後、TCFD提言に基づいた気候変動関連の情報開示を行ってまいります。

### TCFD 提言に沿った開示内容及び開示箇所

TCFD 提言の概要		開示箇所
ガバナンス：気候関連のリスクと機会に関する組織のガバナンスを開示する		
a	気候関連のリスクと機会に関する取締役会の監督	P010, P035, P041, P102
b	気候関連のリスクと機会の評価とマネジメントにおける経営陣の役割	P035, P041
戦略：気候関連のリスクと機会が組織の事業、戦略、財務計画に及ぼす実際の影響と潜在的な影響について、その情報が重要な場合は、開示する		
a	組織が特定した、短期・中期・長期の気候関連のリスクと機会	P031, P041-P044
b	気候関連のリスクと機会が組織の事業、戦略、財務計画に及ぼす影響	P031, P041-P044
c	2°C以下のシナリオを含む異なる気候関連のシナリオを考慮した、組織戦略のレジリエンス	P031, P041-P044
リスク管理：組織がどのように気候関連リスクを特定し、評価し、マネジメントするのを開示する		
a	気候関連リスクを特定し、評価するための組織のプロセス	P035, P039, P041
b	気候関連リスクをマネジメントするための組織のプロセス	P035, P039, P041
c	気候関連リスクを特定し、評価し、マネジメントするプロセスが、組織の全体的なリスクマネジメントにどのように統合されているか	P041, P100
指標と目標：その情報が重要な場合、気候関連のリスクと機会を評価し、マネジメントするために使用される指標と目標を開示する		
a	組織が自らの戦略とリスクマネジメントに即して、気候関連のリスクと機会の評価に使用する指標	P030, P034
b	スコープ1、スコープ2、スコープ3のGHG排出量、および関連するリスク	P040-P041, P049-P050
c	気候関連のリスクと機会をマネジメントするために組織が使用する目標、およびその目標に対する実績	P030, P034, P040